

平成22年度生乳計画生産実績と  
23年度計画生産目標数量の配分状況について（報告）

平成23年6月3日

## 1. 平成22年度生乳計画生産目標数量の設定と配分について

### (1) 平成22年度計画生産目標数量設定の前提

22年度当初、Jミルクにおいては、生乳供給量7,762千トン（前年度実績比99.2%）、この際の脱脂粉乳期末在庫量は98.1千トン（8.0カ月）、バター期末在庫量は47.9千トン（7.8ヶ月）と、生乳需給が緩和し乳製品在庫が大幅に増加するとの生乳需給を予測した。しかし、生乳需給を巡る中期的な環境は流動的であり、短期的な生乳需給見通しによって減産型計画生産を実施した場合、中期的には予想を超えた生乳の過剰・不足が生じる虞があった。こうした状況を踏まえ、22年度計画生産は、3年程度の中期的な需給動向等を見据えた弾力的な対策を実施するとともに、22年度末乳製品在庫量を21年度末以上に増加させない減産型の計画生産とすることとした。

平成22年度 生乳需給(計画生産目標数量策定当初)

	計画生産策定時 (単位:千トン)		
	Jミルク予測 (22年1月時点)	計画生産 目標数量	Jミルク 予測差
	①	②	③=②-①
牛乳等向け	4,088	4,167	80
乳製品向け	3,674	3,534	-140
特定乳製品向け	2,058	1,849	-209
その他乳製品向け	1,616	1,685	68
生クリーム等向け	1,112	1,179	67
チーズ向け	505	506	1
計(生乳供給量)	7,762	7,701	-61
受託乳量	7,541	7,493	-48
インサイダー率	97.2%	97.3%	

注1：中期的な需給動向を見据え、計画生産目標数量はJミルク予測数量に牛乳等向けで65千t、その他乳製品向けで67千tを加算した。

注2：選択的拡大生産数量による需要創出により、牛乳等向けについてはさらに15千t加算した。

脱脂粉乳の需給

(単位:千トン)

	計画生産策定時		
	Jミルク予測 (22年1月時点)	計画生産 目標数量	Jミルク 予測差
	①	②	③=②-①
期首在庫数量	71.1	71.1	0.0
生産量	170.1	152.8	-17.3
カレントアクセス放出量	10.4	10.4	0.0
需要量	153.5	160.6	7.1
期末在庫数量 (在庫月数)	98.1 (8.0)	73.8 (5.9)	-24.3

注1：在庫月数は、21年度の1ヶ月当たり消費量での換算。

バターの需給

(単位:千トン)

	計画生産策定時		
	Jミルク予測 (22年1月時点)	計画生産 目標数量	Jミルク 予測差
	①	②	③=②-①
期首在庫数量	37.4	37.4	0.0
生産量	83.3	74.8	-8.5
カレントアクセス放出量	5.5	5.5	0.0
需要量	78.2	81.6	3.5
期末在庫数量 (在庫月数)	47.9 (7.8)	36.0 (5.6)	-11.9

注1：在庫月数は、21年度の1ヶ月当たり消費量での換算。

## (2) 平成22年度計画生産目標数量の配分

22年度の生乳計画生産目標数量は、脱脂粉乳ベース及びバターベースの需要量の中央値を基本に設定する販売基準数量、需給緩和時には過剰回避対策を優先的に実施する前提で、中期的に想定される需給動向から販売基準数量を差し引いて設定する特別調整乳数量、通常の国内生乳市場と区分して新たに需要を計画的に創出する選択的拡大生産数量の各生産枠の合計とした。以上により、年度当初における計画生産目標数量は、北海道3,829千トン(前年実績比100.1%)、都府県3,665千トン(同97.5%)を配分し、この他に新規就農枠を2.5千トン設定した。

その後、各指定団体からの申請に基づき、期中においてアウトイン修正、新規就農枠の配分及び選択的拡大生産数量の計画変更を実施した。この結果、最終的な生乳計画生産目標数量は、7,491千トン(北海道では3,830千トン、都府県では3,661千トン)となった。

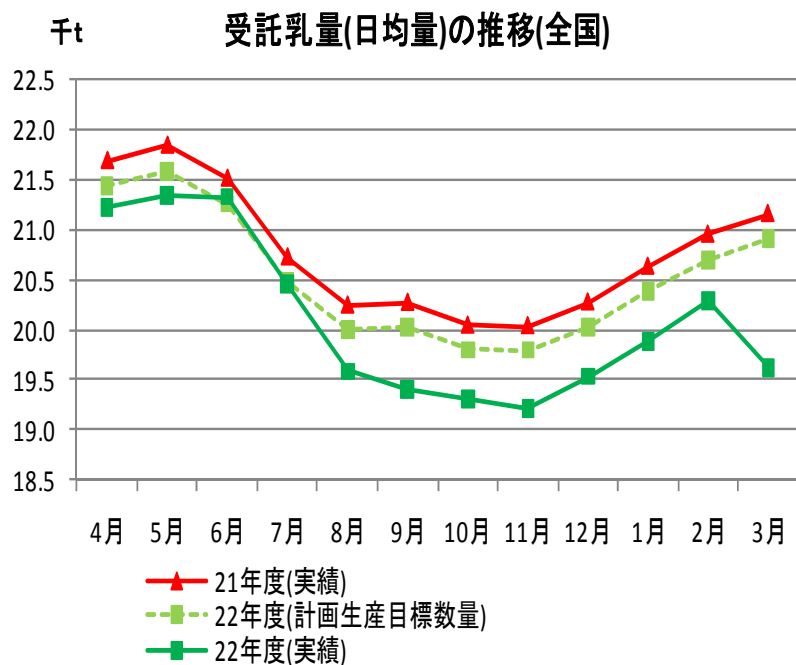
平成22年度生乳計画生産における配分数量

(単位:t)

指定団体	当初配分数量					期中修正					最終配分数量				
	計画生産 目標数量 A=B+E	供給目標 数量 B=C+D	販売基準 数量 C	特別調整乳 数量 D	選択的拡大 生産数量 E	アウトイン修正			新規就農 枠(販売 基準数 量) I	選択的拡 大生産数 量変更 J	修正後 計画生産 目標数量 K=L+O	供給目標 数量 L=M+N	販売基準 数量 M	特別調整乳 数量 N	選択的拡大 生産数量 O
						F=G+H	G	H							
北海道	3,828,718	3,257,492	3,192,927	64,565	571,226	157	154	3	1,019	0	3,829,894	3,258,668	3,194,100	64,568	571,226
東北	617,187	606,713	595,955	10,758	10,474	456	448	8	29	-1,412	616,260	607,198	596,432	10,766	9,062
関東	1,201,132	1,190,077	1,169,352	20,725	11,055	2,615	2,570	46		0	1,203,747	1,192,692	1,171,922	20,771	11,055
北陸	112,526	112,496	110,566	1,930	30					-3	112,523	112,496	110,566	1,930	27
東海	423,764	419,275	412,025	7,250	4,489					711	424,475	419,275	412,025	7,250	5,200
近畿	201,702	201,702	198,255	3,447	0					0	201,702	201,702	198,255	3,447	0
中国	300,021	297,861	292,681	5,180	2,160				544	-1,775	298,790	298,405	293,225	5,180	385
四国	142,019	141,901	139,430	2,471	118					-18	142,001	141,901	139,430	2,471	100
九州	666,174	659,833	648,159	11,674	6,341				907	-5,316	661,766	660,740	649,066	11,674	1,025
都府県	3,664,525	3,629,858	3,566,423	63,435	34,667	3,071	3,018	54	1,481	-7,814	3,661,264	3,634,410	3,570,922	63,489	26,853
全国	7,493,243	6,887,350	6,759,350	128,000	605,893	3,228	3,171	57	2,500	-7,814	7,491,158	6,893,078	6,765,021	128,057	598,079

## 2. 平成22年度の生乳生産の推移について

平成22年度の受託乳量は、4月の宮崎県での口蹄疫発生により、年度当初から地域によっては計画生産目標数量を下回ることとなった。また、7月以降は、記録的な猛暑といった予期せぬ事態の発生により、北海道においては前年度を下回る生産水準となり、都府県においても減産幅が拡大するなど、受託乳量は計画生産目標数量を大きく下回る水準で推移した。さらに、3月11日に発生した東日本大震災の影響により、被災した地域に混乱が生じた結果、都府県における3月の受託乳量は前年実績比86.2%と激減し、年間を通しての生乳生産は低調であった。

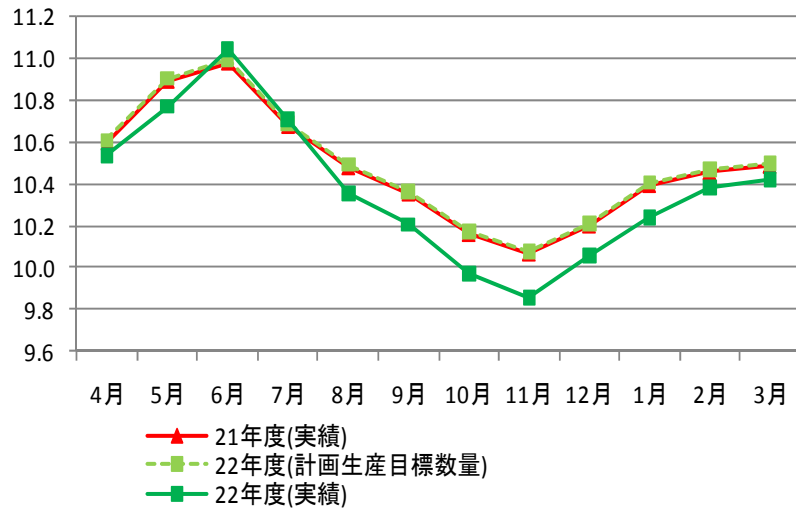


22年度受託乳量(日均量)の推移(全国)

(単位:千t)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
21年度(実績)	21.7	21.8	21.5	20.7	20.2	20.3	20.0	20.0	20.3	20.6	20.9	21.2
22年度(計画生産目標数量)	21.4	21.6	21.3	20.5	20.0	20.0	19.8	19.8	20.0	20.4	20.7	20.9
前年比	98.8%	98.8%	98.8%	98.8%	98.8%	98.8%	98.8%	98.8%	98.8%	98.8%	98.8%	98.8%
22年度(実績)	21.2	21.3	21.3	20.5	19.6	19.4	19.3	19.2	19.5	19.9	20.3	19.6
前年比	97.9%	97.7%	99.1%	98.7%	96.8%	95.7%	96.4%	95.9%	96.4%	96.4%	96.9%	92.7%

千t 受託乳量(日均量)の推移(北海道)

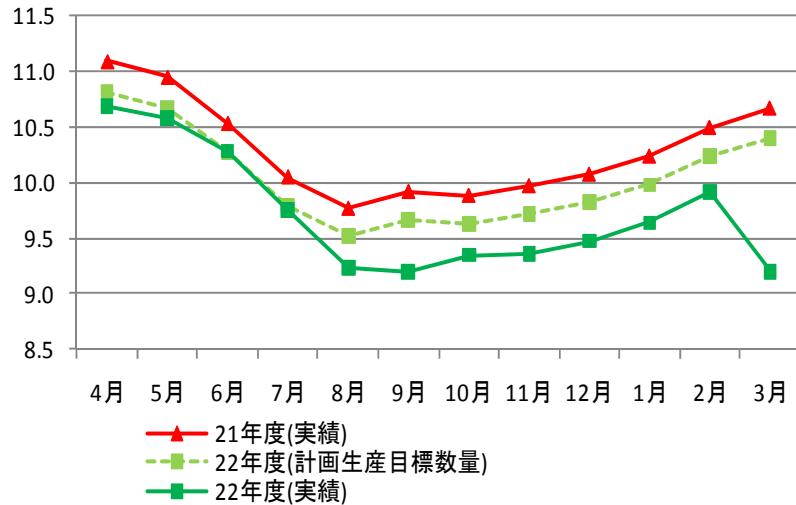


22年度受託乳量(日均量)の推移(北海道)

(単位:千t)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
21年度(実績)	10.6	10.9	11.0	10.7	10.5	10.4	10.2	10.1	10.2	10.4	10.5	10.5
22年度(計画生産目標数量)	10.6	10.9	11.0	10.7	10.5	10.4	10.2	10.1	10.2	10.4	10.5	10.5
前年比	100.1%	100.1%	100.1%	100.1%	100.1%	100.1%	100.1%	100.1%	100.1%	100.1%	100.1%	100.1%
22年度(実績)	10.5	10.8	11.0	10.7	10.4	10.2	10.0	9.9	10.1	10.2	10.4	10.4
前年比	99.5%	98.9%	100.6%	100.3%	98.8%	98.6%	98.1%	97.9%	98.6%	98.5%	99.3%	99.4%

千t 受託乳量(日均量)の推移(都府県)



22年度受託乳量(日均量)の推移(都府県)

(単位:千t)

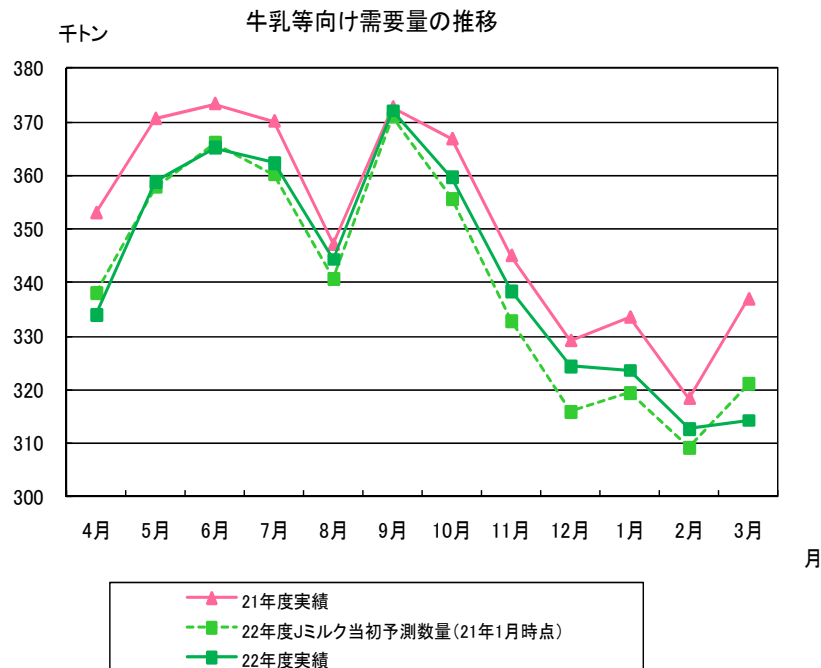
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
21年度(実績)	11.1	10.9	10.5	10.0	9.8	9.9	9.9	10.0	10.1	10.2	10.5	10.7
22年度(計画生産目標数量)	10.8	10.7	10.3	9.8	9.5	9.7	9.6	9.7	9.8	10.0	10.2	10.4
前年比	97.5%	97.5%	97.5%	97.5%	97.5%	97.5%	97.5%	97.5%	97.5%	97.5%	97.5%	97.5%
22年度(実績)	10.7	10.6	10.3	9.7	9.2	9.2	9.3	9.4	9.5	9.6	9.9	9.2
前年比	96.4%	96.6%	97.6%	97.1%	94.6%	92.7%	94.6%	93.8%	94.1%	94.2%	94.4%	86.2%

### 3. 平成22年度生乳需要量の推移

#### (1) 牛乳等向け需要量

牛乳等向け需要量（実績）は、5月以降、Jミルク当初予測（22年度における生乳計画生産目標数量決定時の1月時点）に近い実績で推移してきたが、7月以降は猛暑の影響等により当初予測数量を上回って推移した。しかし、3月は東日本大震災の影響により一転して大幅な減少となった。

22年度合計では、予測数量を22千トン上回る、4,109.5千トン（Jミルク予測比100.5%、前年実績比97.5%）となった。



22年度牛乳等向け需要量の推移

(単位:千トン)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
Jミルク当初予測数量	338.1	357.8	366.1	360.1	340.7	370.9	355.6	332.8	315.9	319.3	309.2	321.0	4,087.6
前年比	96.0%	96.8%	98.1%	97.3%	98.2%	99.5%	96.9%	96.4%	96.3%	96.6%	96.5%	96.3%	97.1%
実績数量	334.0	358.9	365.1	362.4	344.3	372.1	359.7	338.4	324.3	323.6	312.6	314.2	4,109.5
Jミルク予測比	98.8%	100.3%	99.7%	100.6%	101.1%	100.3%	101.1%	101.7%	102.7%	101.3%	101.1%	97.9%	100.5%
Jミルク予測差	-4.2	1.0	-1.0	2.2	3.6	1.2	4.1	5.6	8.4	4.3	3.5	-6.8	22.0
前年実績比	94.6%	96.8%	97.8%	97.9%	99.2%	99.8%	98.0%	98.1%	98.5%	97.0%	98.2%	93.3%	97.5%

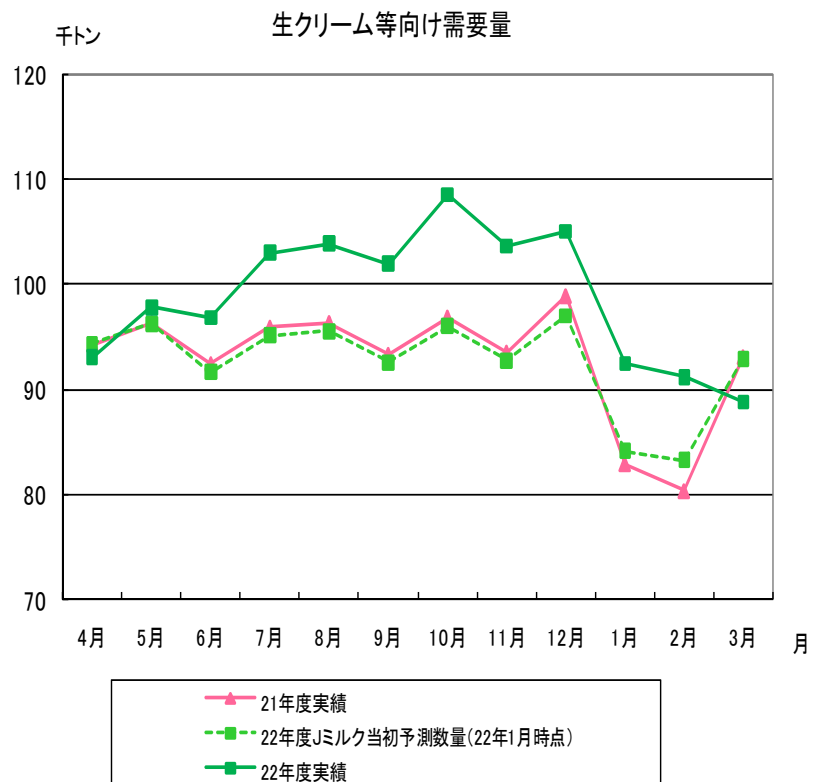
注1: Jミルク当初予測は、平成21年1月時点

注2: 実績数量は、農林水産省「牛乳乳製品統計」の牛乳等向け処理量

## (2) 生クリーム等向け需要量

生クリーム等向け需要量（実績）は、政策的支援を背景とした需要拡大の取組みを背景とし、4月と3月を除く全ての月でJミルクの予測数量を上回って推移した。

22年度合計では、予測数量を74.4千トン上回る1,186千トン（Jミルク予測比106.7%、前年実績比106.5%）となった。



22年度生クリーム等向け需要量の推移

(単位:千トン)

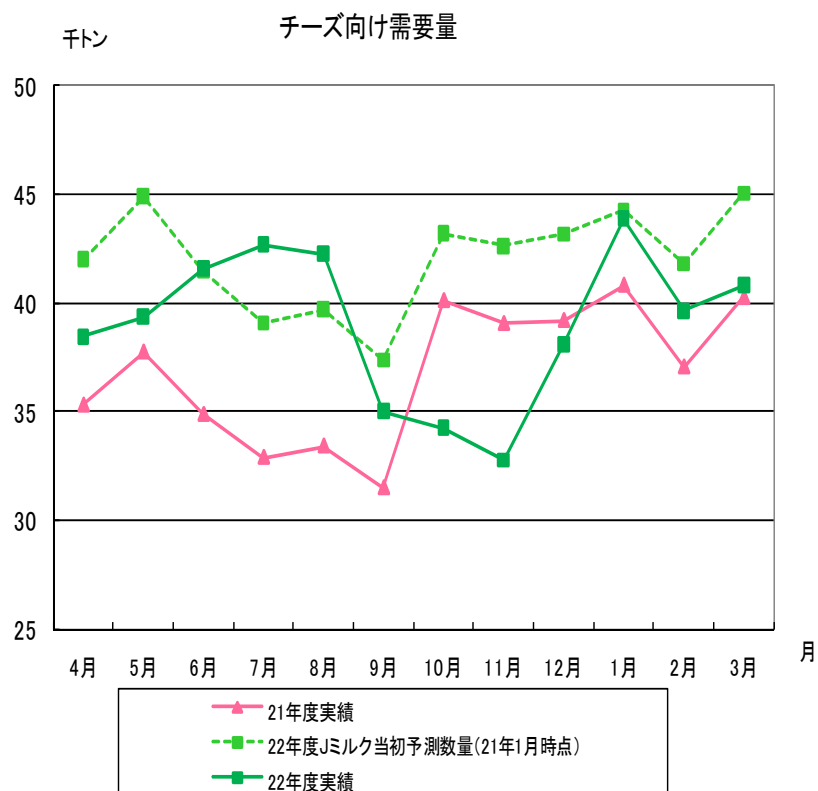
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
Jミルク当初予測数量	94.3	96.3	91.7	95.1	95.6	92.6	96.0	92.8	97.0	84.1	83.2	92.9	1,111.6
前年比	99.2%	99.1%	99.1%	99.2%	99.1%	99.2%	99.2%	99.2%	98.6%	99.4%	99.8%	99.8%	99.2%
実績数量	93.0	97.8	96.8	103.0	103.8	101.9	108.5	103.6	105.0	92.5	91.2	88.8	1,186.0
Jミルク予測比	98.6%	101.6%	105.6%	108.3%	108.7%	110.1%	113.0%	111.7%	108.3%	109.9%	109.6%	95.5%	106.7%
Jミルク予測差	-1.3	1.6	5.1	7.9	8.3	9.3	12.5	10.9	8.0	8.3	8.0	-4.1	74.4
前年実績比	98.7%	101.6%	104.8%	107.4%	107.8%	109.2%	112.1%	110.8%	106.3%	111.5%	113.4%	95.4%	106.5%

注1: Jミルク当初予測は、平成21年1月時点

### (3) チーズ向け需要量

チーズ向け需要量（実績）は、8月までは比較的堅調に推移してきたが、9月以降猛暑の影響による北海道から都府県への生乳移出量や液状乳製品需要の増加により、Jミルク当初予測を大きく下回って推移した。

22年度合計では、予測数量を35.7千トン下回る468.9千トン（Jミルク予測比92.9%、前年実績比106.0%）となった。



22年度チーズ向け需要量の推移

(単位:千トン)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
Jミルク当初予測数量	42.0	44.9	41.5	39.1	39.7	37.4	43.2	42.6	43.2	44.3	41.8	45.0	504.6
前年比	119.0%	119.0%	118.9%	118.8%	118.8%	118.7%	107.7%	109.2%	110.1%	108.4%	109.2%	108.6%	113.5%
実績数量	38.4	39.4	41.6	42.7	42.3	35.0	34.3	32.8	38.1	43.9	39.7	40.8	468.9
Jミルク予測比	91.6%	87.7%	100.3%	109.3%	106.5%	93.7%	79.3%	76.9%	88.2%	99.2%	94.9%	90.6%	92.9%
Jミルク予測差	-3.5	-5.5	0.1	3.6	2.6	-2.3	-8.9	-9.8	-5.1	-0.4	-2.2	-4.2	-35.7
前年実績比	108.9%	104.3%	119.2%	129.8%	126.5%	111.2%	85.4%	84.0%	97.2%	107.5%	107.0%	101.4%	106.0%

注1: Jミルク当初予測は、平成21年1月時点



#### 4. 平成22年度計画生産目標数量の実績

##### (1) 生乳計画生産目標数量の実績

平成22年度の全国の生乳計画生産目標数量（受託乳量）の実績は、生乳計画生産目標数量を157千トン下回る7,334千トン（前年実績比96.7%）となった。地域別には、北海道は生乳計画生産目標数量を42千トン下回る3,788千トン（同99.0%）、都府県は115千トン下回る3,546千トン（同94.3%）となった。

また、供給目標数量実績数量（受託乳量から選択的拡大生産数量を除いた数量）は、全国では供給目標数量を147千トン下回る6,746千トン（前年実績比94.5%）。地域別には、北海道は32千トン下回る3,226千トン（同95.1%）、都府県は115千トン下回る3,519千トン（同93.9%）となった。

22年度は、計画生産目標数量を大きく下回る実績となったが、未達ペナルティを休止しているため、ペナルティ対象となる指定団体はなかった。

指定団体	最終配分数量					実績数量											
	計画生産目標数量					受託乳量											
	供給目標数量				選択的拡大生産数量	供給目標数量実績数量									選択的拡大生産数量実績	選択的拡大数量配分数量との差（未達・超過）	
	販売基準数量	特別調整乳数量	前年実績比	計画生産目標数量との差		計画生産目標数量対比	前年実績比	供給目標数量配分数量との差（未達・超過）	供給目標数量配分対比	前年実績比	選択的拡大数量配分数量との差（未達・超過）	選択的拡大生産数量配分対比					
A=B+E					B=C+D								C	D	E	F	G=F-A
北海道	3,829,894	3,258,668	3,194,100	64,568	571,226	3,787,734	-42,160	98.9%	99.0%	3,226,290	-32,378	99.0%	95.1%	561,444	-9,782	98.3%	
東北	616,260	607,198	596,432	10,766	9,062	590,424	-25,836	95.8%	93.3%	581,363	-25,836	95.7%	92.6%	9,062	0	100.0%	
関東	1,203,747	1,192,692	1,171,922	20,771	11,055	1,168,082	-35,665	97.0%	94.2%	1,156,929	-35,763	97.0%	93.3%	11,152	97	100.9%	
北陸	112,523	112,496	110,566	1,930	27	105,912	-6,611	94.1%	93.1%	105,886	-6,610	94.1%	93.1%	26	-0	98.9%	
東海	424,475	419,275	412,025	7,250	5,200	410,305	-14,170	96.7%	94.9%	405,245	-14,030	96.7%	94.1%	5,060	-140	97.3%	
近畿	201,702	201,702	198,255	3,447	0	193,277	-8,425	95.8%	94.4%	193,277	-8,425	95.8%	94.4%	0	0	-	
中国	298,790	298,405	293,225	5,180	385	295,297	-3,494	98.8%	96.1%	294,921	-3,484	98.8%	96.1%	375	-10	97.5%	
四国	142,001	141,901	139,430	2,471	100	139,586	-2,415	98.3%	96.4%	139,488	-2,413	98.3%	96.4%	98	-2	97.5%	
九州	661,766	660,740	649,066	11,674	1,025	643,374	-18,392	97.2%	94.3%	642,349	-18,392	97.2%	94.2%	1,025	0	100.0%	
都府県	3,661,264	3,634,410	3,570,922	63,489	26,853	3,546,256	-115,008	96.9%	94.3%	3,519,457	-114,953	96.8%	93.9%	26,799	-54	99.8%	
全国	7,491,158	6,893,078	6,765,021	128,057	598,079	7,333,990	-157,168	97.9%	96.7%	6,745,747	-147,331	97.9%	94.5%	588,243	-9,836	98.4%	

(2) 平成22年度供給目標数量の実績

供給目標数量の配分は、22年度当初、各指定団体に6,887千トン（うち販売基準数量6,759千トン、特別調整乳数量128千トン）の配分を行った。その後、22年年度期中において新規就農枠の配分及びアウトイン修正を実施した結果、最終的な配分数量は6,893千トン（うち販売基準数量6,765千トン、特別調整乳数量128千トン）となった。

供給目標数量の実績は、生乳生産量が減少した結果、北海道、中国、四国は販売基準数量を上回ったが、その他の指定団体は販売基準数量を下回り、特別調整乳数量の実績はなかった。全国の総量としては、販売基準数量の実績は6,711千トンとなり6,765千トンの配分に対して53千トン下回った。また、特別調整乳の実績は34千トンとなり、128千トンの配分に対して実績は94千トン下回った。

(単位:トン)

指定団体	最終配分数量			実績数量								
	供給目標数量 A=B+C	販売基準数量 B	特別調整乳数量 C	供給目標数量 D	販売基準数量			特別調整乳数量				
					配分数量比 E=D/A	配分数量差 F=D-A	配分数量比 H=G/B	配分数量差 I=G-B	配分数量比 K=J/C	配分数量差 L=J-C		
北海道	3,258,668	3,194,100	64,568	3,226,290	99.0%	-32,378	3,194,100	100.0%	0	32,190	49.9%	-32,378
東北	607,198	596,432	10,766	581,363	95.7%	-25,836	581,363	97.5%	-15,070	0	0.0%	-10,766
関東	1,192,692	1,171,922	20,771	1,156,929	97.0%	-35,763	1,156,929	98.7%	-14,992	0	0.0%	-20,771
北陸	112,496	110,566	1,930	105,886	94.1%	-6,610	105,886	95.8%	-4,680	0	0.0%	-1,930
東海	419,275	412,025	7,250	405,245	96.7%	-14,030	405,245	98.4%	-6,780	0	0.0%	-7,250
近畿	201,702	198,255	3,447	193,277	95.8%	-8,425	193,277	97.5%	-4,978	0	0.0%	-3,447
中国	298,405	293,225	5,180	294,921	98.8%	-3,484	293,225	100.0%	0	1,696	32.7%	-3,484
四国	141,901	139,430	2,471	139,488	98.3%	-2,413	139,430	100.0%	0	58	2.3%	-2,413
九州	660,740	649,066	11,674	642,349	97.2%	-18,392	642,349	99.0%	-6,718	0	0.0%	-11,674
都府県	3,634,410	3,570,922	63,489	3,519,457	96.8%	-114,953	3,517,704	98.5%	-53,218	1,754	2.8%	-61,735
全国合計	6,893,078	6,765,021	128,057	6,745,747	97.9%	-147,331	6,711,803	99.2%	-53,218	33,944	26.5%	-94,113

※販売基準数量及び特別調整乳数量の実績は、受託乳量から選択的拡大生産数量実績を差し引き、その数量を販売基準数量に優先的に充当する方法で算出。

(3) 平成22年度選択的拡大生産数量の実績

選択的拡大生産数量の配分は、22年度当初、申請のあった各指定団体に606千トンの配分を行った。その後、22年年度期中において選択的拡大生産数量の計画変更を受け付け、最終的な配分数量は598千トンとなった。

選択的拡大生産数量の実績は、チーズ・全乳哺育向けが469千トン、輸出や輸入調製品との置き換え等を含む新規需要創出向けが119千トン、合計では588千トンとなり、最終配分数量を10千トン下回った。

(単位:トン)

指定団体	最終配分数量 ①	実績数量			チーズ・全乳哺育向け数量 ⑤	新規需要創出数量 ⑥=⑦+⑧	共同負担数量 ⑦	その他数量 ⑧
		②=⑤+⑥	配分数量比 ③=②/①	配分数量差 ④=②-①				
北海道	571,226	561,444	98.3%	-9,782	460,010	101,434	0	101,434
東北	9,062	9,062	100.0%	0	4,463	4,599	3,099	1,500
関東	11,055	11,152	100.9%	97	850	10,302	5,261	5,041
北陸	27	26	98.9%	-0	26	0	0	0
東海	5,200	5,060	97.3%	-140	2,260	2,800	0	2,800
近畿	0	0	-	-	0	0	0	0
中国	385	375	97.5%	-10	375	0	0	0
四国	100	98	97.5%	-2	98	0	0	0
九州	1,025	1,025	100.0%	0	824	201	0	201
都府県	26,853	26,799	99.8%	-54	8,897	17,902	8,360	9,542
全国合計	598,079	588,243	98.4%	-9,836	468,906	119,337	8,360	110,976

(4) 平成22年度の生乳需給

22年度の用途別処理量については、牛乳等向け処理量は4,108千トンとJミルクの予測数量を21千トン上回り、生クリーム等向けの処理量も予測数量を74千トン上回った。

22年度計画生産の実施に際しては、中期的な需給動向を見据え132千トンの需要量を加算し目標数量設定を行ったが、牛乳等向け及び生クリーム等向けで95千トンの上ブレに留まった。しかし、22年度の生乳供給量が猛暑や震災等の予期せぬ事態が発生し、7,560千トンと目標数量を140千トン下回った。

この結果、特定乳製品向け処理量は1,797千トン（限度数量1,850千トン）と、目標数量を52千トン下回った。

(単位:千トン)

	計画生産策定時			実績数量					
	Jミルク予測 (22年1月時点) ①	計画生産 目標数量 ②	Jミルク 予測差 ③=②-①	④	前年実績比 ⑤	Jミルク予測 との差 ⑥=④-①	Jミルク予測比 ⑦=④/①	当初計画生産 目標数量 との差 ⑧=④-②	当初計画生産 目標数量比 ⑨=④/②
牛乳等向け	4,088	4,167	80	4,108	97.4%	21	100.5%	-59	98.6%
乳製品向け	3,674	3,534	-140	3,452	96.2%	-222	94.0%	-82	97.7%
特定乳製品向け	2,058	1,849	-209	1,797	88.4%	-261	87.3%	-52	97.2%
その他乳製品向け	1,616	1,685	68	1,655	106.3%	39	102.4%	-30	98.2%
生クリーム等向け	1,112	1,179	67	1,186	106.5%	74	106.7%	—	—
チーズ向け	505	506	1	469	106.0%	-36	92.9%	—	—
計(生乳供給量)	7,762	7,701	-61	7,560	96.9%	-201	97.4%	-140	98.2%
受託乳量	7,541	7,493	-48	7,334	96.7%	-207	97.3%	-159	97.9%
インサイダー率	97.2%	97.3%		97.0%	—	—	—	—	—

(5) 平成22年度の乳製品需給

特定乳製品向けの数量が減少した結果、脱脂粉乳・バターともに生産量が減少した。一方、需要は、Jミルクの予測及び計画生産目標数量を大幅に上回るとともに、カレントアクセスも輸入義務分が万度に放出されなかった。この結果、過剰となっていた乳製品在庫は減少し、緩和していた生乳需給については逼迫傾向へと転じた。

22年度実績は、脱脂粉乳の需要量は160.8千トンとなり、22年度の期末在庫数量は58.7千トンと、期首在庫量より11.0千トン減少した。バターの需要量は83.7千トンとなり、22年度の期末在庫数量は20.6千トンと、期首在庫量より12.0千トン減少した。

脱脂粉乳の需給

(単位:千トン)

	計画生産策定時			実績数量					
	Jミルク予測 (22年1月時点) ①	計画生産 目標数量 ②	Jミルク 予測差 ③=②-①	実績数量 ④	前年実績比 ⑤	Jミルク予測 との差 ⑥=④-①	Jミルク予測比 ⑦=④/①	当初計画生産 目標数量 との差 ⑧=④-②	当初計画生産 目標数量比 ⑨=④/②
期首在庫数量	71.1	71.1	0.0	69.7	161.7%	-1.5	98.0%	-1.5	98.0%
生産量	170.1	152.8	-17.3	148.8	87.4%	-21.3	87.5%	-4.0	97.4%
カレントアクセス放出量	10.4	10.4	0.0	1.0	—	—	—	—	—
需要量	153.5	160.6	7.1	160.8	107.4%	7.3	104.7%	0.2	100.1%
期末在庫数量 (在庫月数)	98.1 (8.0)	73.8 (5.9)	-24.3	58.7 (4.7)	84.2%	-39.4	59.8%	-15.1	79.5%

注1: 在庫月数は、21年度の1ヶ月当たり消費量での換算。

バターの需給

(単位:千トン)

	計画生産策定時			実績数量					
	Jミルク予測 (22年1月時点) ①	計画生産 目標数量 ②	Jミルク 予測差 ③=②-①	実績数量 ④	前年実績比 ⑤	Jミルク予測 との差 ⑥=④-①	Jミルク予測比 ⑦=④/①	当初計画生産 目標数量 との差 ⑧=④-②	当初計画生産 目標数量比 ⑨=④/②
期首在庫数量	37.4	37.4	0.0	32.6	116.0%	-4.8	87.1%	-4.8	87.1%
生産量	83.3	74.8	-8.5	70.1	85.5%	-13.2	84.2%	-4.7	93.7%
カレントアクセス放出量	5.5	5.5	0.0	1.6	—	—	—	—	—
需要量	78.2	81.6	3.5	83.7	108.0%	5.5	107.1%	2.1	102.5%
期末在庫数量 (在庫月数)	47.9 (7.8)	36.0 (5.6)	-11.9	20.6 (3.2)	63.3%	-27.3	43.0%	-15.4	57.2%

注1: 在庫月数は、21年度の1ヶ月当たり消費量での換算。

## 5. 平成23年度生乳計画生産における計画生産目標数量等の指定団体別配分について

2月9日開催の理事会において、平成23年度生乳計画生産対策が決定された後、各指定団体に、販売基準数量の配分及び特別調整乳数量の一次配分を行った。その後、特別調整乳数量については、数量の増減量を希望する指定団体がなかったため、指定団体間での数量調整（追加配分）は行われず、3月18日に供給目標数量の正式配分を行った。また、選択的拡大生産数量については、3月31日までに希望数量の申請が行われ、4月27日に各指定団体への配分を行った。

この結果、平成23年度の計画生産目標数量は7,492.7千トン（22年度実績比102.2%）、うち北海道は3,866千トン（同102.1%）、都府県は3,627千トン（同102.3%）となった。

直近時点においては、期中のアウトイン修正を行った結果、計画生産目標数量は7,493.6千トン、うち供給目標数量は6,935.2千トンとなっている。

平成23年度の計画生産目標数量の指定団体別配分数量(5月16日アウトイン修正後)

(単位:トン)

指定団体	計画生産目標数量		供給目標数量				選択的拡大生産数量	アウトイン修正			修正後計画生産目標数量	供給目標数量			
	A=B+E	前年度実績比	B=C+D	前年度実績比	C	D		F=G+H	G	H		J=K+L	K=C+G	L=D+H	M
北海道	3,865,869	102.1%	3,318,869	102.9%	3,268,273	50,596	547,000				3,865,869	3,318,869	3,268,273	50,596	547,000
東北	610,969	103.5%	605,969	104.2%	599,580	6,389	5,000				610,969	605,969	599,580	6,389	5,000
関東	1,191,396	102.0%	1,190,446	102.9%	1,178,719	11,727	950				1,191,396	1,190,446	1,178,719	11,727	950
北陸	110,515	104.3%	110,487	104.3%	109,470	1,017	28				110,515	110,487	109,470	1,017	28
東海	417,641	101.8%	415,541	102.5%	411,596	3,945	2,100	918	909	9	418,559	416,459	412,505	3,954	2,100
近畿	198,347	102.6%	198,347	102.6%	196,563	1,784	0				198,347	198,347	196,563	1,784	0
中国	298,025	100.9%	296,140	100.4%	293,283	2,857	1,885				298,025	296,140	293,283	2,857	1,885
四国	140,356	100.6%	140,243	100.5%	138,896	1,347	113				140,356	140,243	138,896	1,347	113
九州	659,582	102.5%	658,282	102.5%	651,525	6,757	1,300				659,582	658,282	651,525	6,757	1,300
都府県	3,626,831	102.3%	3,615,455	102.7%	3,579,632	35,823	11,376	918	909	9	3,627,749	3,616,373	3,580,541	35,832	11,376
全国	7,492,700	102.2%	6,934,324	102.8%	6,847,905	86,419	558,376	918	909	9	7,493,618	6,935,242	6,848,814	86,428	558,376